

安全報告書(2015)

IOX-AROSA

IOX-ゴンドラ

第1ペアリフト

第2ペアリフト

第3ペアリフト

第4ペアリフト

第5ペアリフトA線

第5ペアリフトB線

医王アローザ株式会社

2016年発行

1. 利用者の皆様へ

日ごろはIOX－AROSAをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社はおお客様の安全確保を第一に掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に最大の努力をしております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、索道輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解をいただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

医王アローザ株式会社
代表取締役社長 北島 清

2. 基本方針と安全目標

当社は安全に係わる基本方針及び行動規範を全従業員に周知、徹底し、輸送の安全確保に努めています。

【輸送の安全確保に関する安全基本方針】

- ・ 安全の確保は輸送の生命である。
- ・ 規定の遵守は安全の基礎である。
- ・ 執務の厳正は安全の要件である。

【行動規範】

- (1) 一致団結して輸送の安全に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する情報を理解するように努めます。
- (4) 職務実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義ある時は最も安全と思われる取扱いに努めます。
- (5) 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速に、正確に伝えます。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むように努めます。

【安全目標】

- (1) 人身障害事故 0件
- (2) 整備不具合による事故 0件

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道運転事故(索道人身障害事故)
該当事項はございません。
- (2) 災害(地震や暴風雪、豪雪など)
○ゴンドラを強風の為延べ1日運行を休止しました。
- (3) インシデント(事故の兆候)

該当事項はございません。

(4) 行政指導等

該当事項はございません。

4. 輸送の安全確保の為の取組み

(1) 人材教育

北陸信越運輸局、北陸信越索道協会、北陸信越索道協会富山地区部会の各研修会に参加受講しました。

シーズン前にはスタッフへの安全教育研修を実施しました。

(2) 緊急時対応訓練

シーズン営業開始前に、砺波広域圏南砺市消防署・アローザ村協議会(場内宿泊施設)・医王アローザ株式会社と合同でゴンドラリフト救助訓練を実施しました。緊急時の連絡体制の確認を実施しました。訓練実施後、消防署員と救助訓練の反省や今後の活動方法などについて話し合い、検討を実施しました。

実施日:平成27年12月 8日(月)15:00

参加団体:砺波広域圏南砺消防署、アローザ村協議会員
医王アローザ株式会社



(3) 安全のための投資

IOX-AROSA の主な保守内容

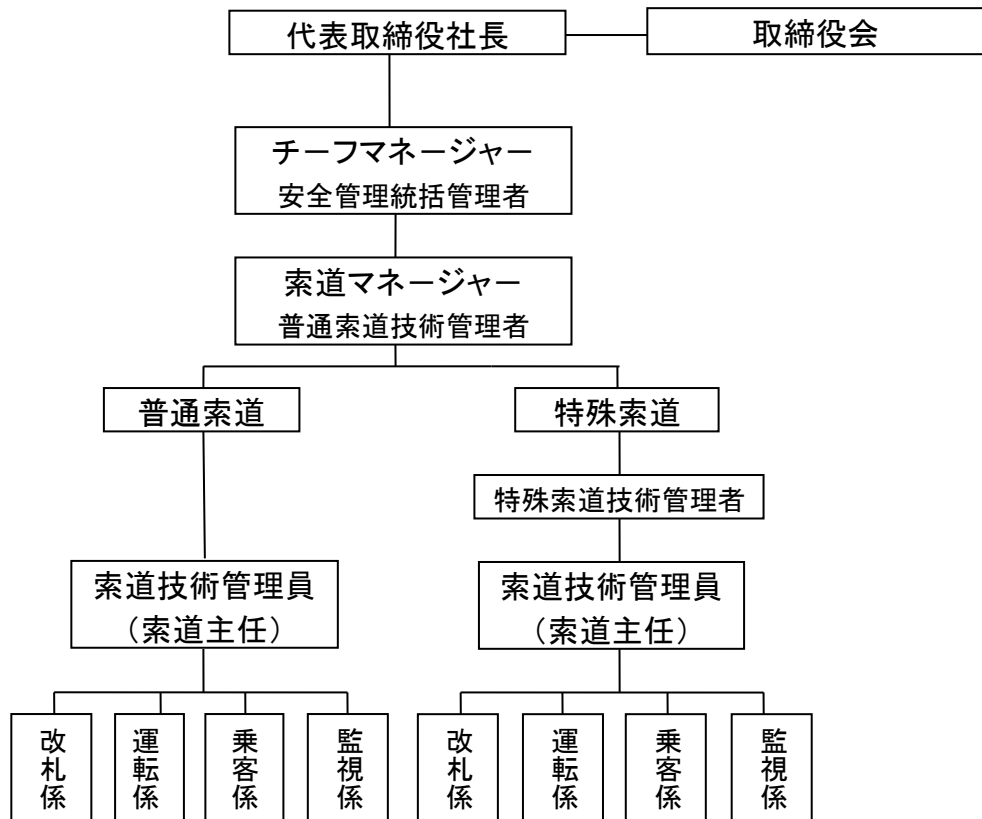
○ゴンドラ

・支柱	索受装置	1,14,15,16,17,18 号柱オーバーホール ベアリング ドライメタル ボルトナット交換 1号柱8,4,2輪ビーム交換
・場内設備	場内押送装置	山頂押送タイヤ交換 パルスジェネレーター交換
	補機	ハンセン減速機オイル交換

		ギヤ BOX W199 オイル交換
		非常用三相電動機オイル交換
・原動設備	減速機	オイル交換
	制動装置	作動油交換
	緊張装置	作動油交換
	予備駆動	作動油交換
・搬器	握索機	非破壊検査23台
		分解整備23台
	懸垂部	非破壊検査23台
	キャビン	扉整備23台
・各軸受部		探傷検査
・保安設備		場内センサー リミット交換
・電気設備		
○第1ペアリフト		
・搬器	握索機	全機 オーバーホール
・各軸受部		探傷検査
・保安設備		点検、保守
・電気設備		点検、保守
		DS-700 サイリスタ素子交換
○第2ペアリフト		
・搬器	握索機	全機 オーバーホール
・各軸受部		探傷検査
・保安設備		点検、保守
・電気設備		点検、保守
・原動設備		塗装
○第3リフト		
・搬器	握索機	全機オーバーホール
・各軸受部		探傷検査
・保安設備		点検、保守
・電気設備		点検、保守
		操作スタンド部品交換
○第4ペアリフト		
・原動設備	減速機	オイル交換
	制動装置	作動油交換
	緊張装置	作動油交換
		Vベルト交換
・支柱	受索	調整
・搬器	握索機	全機オーバーホール
・各軸受部		探傷検査
・保安設備		点検、保守
・電気設備		点検、保守
○第5ペアリフトA線		
・支柱	索受	調整
・原動設備	減速機	オイル交換

	制動機	作動油交換
	油圧緊張	作動油交換
○第5ペアリフトB線		
・支柱	索受	調整
・搬器	握索機	全機オーバーホール
	制動機	作動油交換
	油圧緊張	オイル交換
		オイル漏れ修繕
・各軸受部		探傷検査
・電気設備		点検、保守
・保安設備		点検、保守

5. 安全管理体制



代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
チーフマネージャー (安全統括管理者)	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
索道マネージャー 普通索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、普通索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
特殊索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、特殊索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務の補助をする。

6. お願い

- (1) リフトには滑走具(スキー、スノーボードなど)を着用されていないお客様はご乗車いただけません。
- (2) ゴンドラリフト・リフトご乗車にあたっては責任と義務がともないますので次のことは必ずお守りください。

<乗車時>

- ① リフトの乗り降りに不安なお客様は、係員に申しでてください。
 - ② 「のりば」の表示位置でスキー、ボードを正しく前に向けて待機してください。
 - ③ 乗れなかった場合は、すぐにリフトから離れてください。
 - ④ スキーヤーはストックがとなりの人の迷惑にならないように注意してください。
 - ⑤ リュック等はひざにのせ、衣服等のヒモにも注意してください。
 - ⑥ スノーボードのお客様は、流止めをつけ、ハイバックをたたくてください。
- 未就学児の乗車については大人の方と同乗をお願いいたします。

<乗車中>

- ① セーフティーバーを下ろし、深く腰をかけてください。
- ② 乗車中は、次のことを行わないでください。
 - ・イスを揺らすこと
 - ・イスから飛び降りること
 - ・イスの上でふざけたり、後ろを向いたりすること
 - ・ストックなどで柱などにさわること。
- ③ リフトが止まっても飛び降りないでください。

<降車時>

- ① 「おりば」が近づいたら降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進んでください。
 - ② 降りられなかった場合は、そのままイスにすわっててください。
- ※気象状況(強風、雷)などにより、輸送の安全の確保が困難となった場合はゴンドラ、リフトを一時停止、運転見合わせ及び運休とさせていただきます。ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

7. 連絡先

よりよいサービスを提供させていただくため、お客様からのご意見を募集しています。安全報告書へのご感想や当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

〒939-1681

富山県南砺市才川七アローザ村

医王アローザ株式会社 お客様係宛

E-Mail: info@iox-arosa.jp

電話 0763-55-1326 FAX 0763-55-1329